



【沖縄県】

沖縄県立北部農林高等学校

eco 部 美ら桜を守るチーム

知ってる？ピンクの宝石 ～広めたい沖縄の桜～

高校生ボランティアフェア 2024

「北農桜プロジェクト」

活動概要

沖縄本島北部亜熱帯の森には、希少な固有動植物が多く生息しており、世界自然遺産「ヤンバルの森」として登録されています。その緑豊かな森を濃い**ピンク色**に染め、**新春を知らせる花が琉球寒緋桜**です。沖縄の桜は毎年1月頃から咲き始めます。各地で桜まつりが開催され、3大桜まつりとして、第61回を数える名護桜まつり、第46回もとぶ八重岳桜まつり、第17回今帰仁グスク桜まつりが行われ、**県内外から観光客が訪れる一大イベント**です。長年私達に愛され続けている桜ですが、近年立ち枯れや老木化が目立つようになりました。そこで、「日本の春はここからはじまる！未来へ残そう美ら桜」を合言葉に**同窓会、市と連携した保全活動**が始まりました。さらに、校内桜の森プロジェクトや木工品作り、個人の課題研究、インスタグラム運営、地元のお菓子屋さんとのコラボまんじゅうの開発、イベント販売、メディア取材など**広報活動**にも力を入れています。



日本の春はここからはじまる！ 未来へ残そう美ら桜

活動の目的

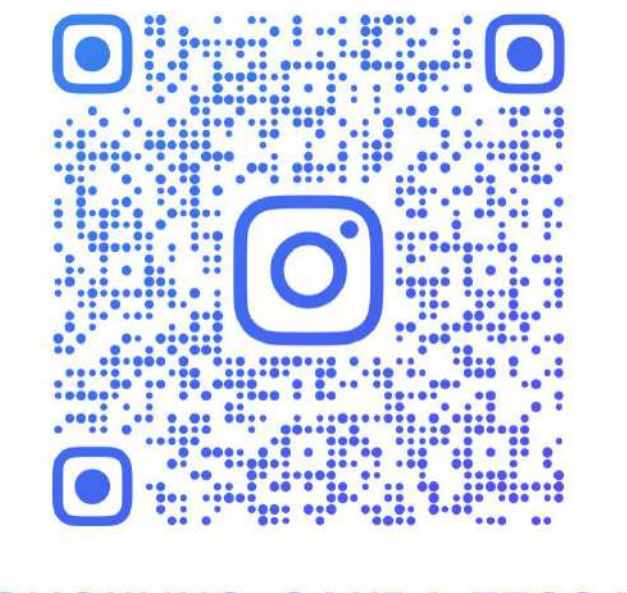
「日本の春は、ここ沖縄の桜からはじまる！」
全国に先駆け、春を知らせるピンク色の美しい桜。長年私たちに愛され続けていますが、近年立ち枯れや老木がめだつようになりました。そこで、今年度は「日本の春はここからはじまる。未来へ残そう、沖縄の美ら桜～知ってる？ピンクの宝石 広めたい沖縄の桜～」をテーマに、北農さくらプロジェクトを立ち上げ、林業緑地科の全生徒、エコ部をはじめ、環境問題に興味のある生徒を中心に研究活動、植栽活動を地域と連携し、環境問題への啓発へと繋げ活動を行っています。



「実施内容・実績」



- (1) 名護桜の会、名護市観光協会、名護花の里づくり会、北部農林高等学校同窓会・後援会 名護市各区との連携
- (2) 名護さくらのまち推進事業及びさくら里親参加
- (3) 個人課題研究の推進、農業クラブ意見発表大会出場、プロジェクト発表会出場
- (4) 桜の普及及び育樹活動、接ぎ木講習会の実施、校内桜の森プロジェクト、桜街道づくり
- (5) インスタグラム開設運営による広報活動、学校ホームページの活用
- (6) 桜間伐材による木工品作り
- (7) メディア取材による桜活動の周知（テレビ、新聞、ラジオ、進路情報誌）
- (8) 地元お菓子屋さんとのコラボ饅頭、イベントでの販売
- (9) 沖縄県高等学校文化連盟主催第30回高校生の社会活動体験発表会出場
- (10) 第2回沖縄・徳島交流学习発表会出場
- (11) 全国ユース環境活動発表大会出場



@HOKUNO_SAKRA.75394



「未来へ残そう美ら桜 知ってる？ピンクの宝石」

今後の展望・夢

「エコ部の活動ってどれぐらいの人が知っているのだろう？」桜は日本の象徴であり、私たちの伝統や文化の一部ですが、その美しさを守るためには多くの人に現状を知ってもらう必要があります。沖縄の桜は本土のソメイヨシノとは異なり、濃いピンク色の1月に開花する琉球寒緋桜で毎年1月には名護さくら祭りが開催され、日本一早い春の訪れを知らせてくれる大切な**「木」と「花」**です。当たり前のように毎年咲き、安らぎを与えてくれますが、近年、老木化、立ち枯れ等により、数が減少しています。今年も、暖冬の影響を受け、寒さが中途半端なためか、桜の木が休眠打破を桜が認識することができず、**桜の花が咲かない**または少ない木々が多くありました。桜の樹木は、生長するのに何十年も時間がかかるため、**今のうちから対策**を講じないと、減少の一途をたどってしまいます。私たちは、豊かな自然環境を残すため、さくらプロジェクト立ち上げ、地域、同窓会を通して、地域交流を行い、意識の高揚や連携、地域の活性化に取り組み、「日本の春はここからはじまる。未来へ残そう美ら桜」を合い言葉に**「目で見て、聞いて、手で触れて、香って味わう」**活動を行っています。



北部農林高等学校エコ部 美ら桜を守るチーム

北部農林高校林業緑地科、生活科学科、エコ部北部農林高等学校後援会・同窓会、名護桜の会、名護市観光協会、名護花の里づくり会、名護市各区と連携し、さくらプロジェクトに取り組んでいます。